

ONE

OCEAN NETWORK EXPRESS

2021年度第1四半期決算説明資料

2021年7月30日

- ▣ 1. 2021年度第1四半期決算概要 P.3
- ▣ 2. 主要航路別積高・消席率・運賃指数 P.4
- ▣ 3. COVID-19影響と対応 P.5
- ▣ 4. 2021年度通期見通し P.6
- ▣ 5. 競争力強化へ向けた取り組み P.7
- ▣ 6. 参考資料（船隊構成、航路構成） P.8

1. 2021年度第1四半期決算概要

□ 要点

活況な市況の継続により、前年同期比大幅に改善し、第1四半期で2,559百万US\$の黒字を達成 (+2,392百万US\$)

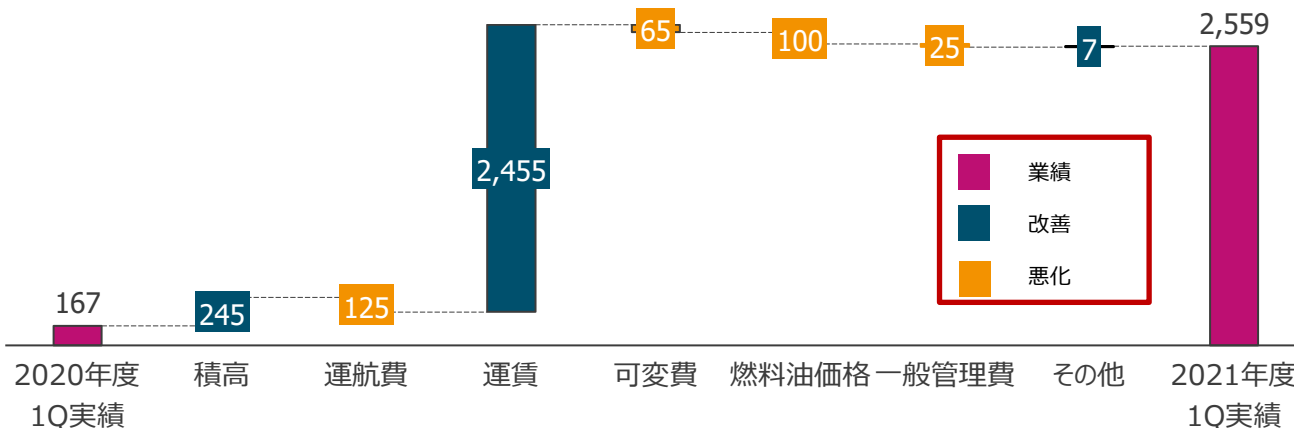
- 世界の荷動きは対前年同期比約20%の増加で推移。旺盛な貨物需要により各航路満船の状況が継続。
- サプライチェーン全体の混乱は1Qも続き、港湾や内陸の混雑、各港における滞船が継続。
- 長期運賃の上昇に加え、短期運賃市況も想定を大幅に上回る水準で推移。

□ 2021年度第1四半期実績並びに対前年度比較

(単位：百万US\$)

	2020年度	2021年度	1Q	
	1Q実績	1Q実績	増減	増減 (%)
売上高	2,736	5,776	3,040	111%
EBITDA	488	2,924	2,436	499%
EBIT	242	2,657	2,415	998%
税引き後損益	167	2,559	2,392	1432%

	2020年度	2021年度	1Q	
燃料油価格 (US\$/MT)	\$348	\$465	\$117	34%
総燃料消費量 (K MT)	877	906	29	3%
総積高 (K TEU)	2,673	3,104	431	16%



- 積高：COVID-19の影響を大きく受けた対前年同期比で旺盛な貨物需要により改善。
- 運航費：港湾混雑により遅延が継続。スケジュール維持のための増速等により運航費は悪化。
- 運賃：長期運賃の上昇ならびに短期市況は大幅に上昇。
- 可変費：コスト削減は進展するも、港湾や内陸の混雑により追加費用が発生。
- 燃料油価格：油価は上昇。
- 一般管理費：代理店費用が増加。
- その他：為替影響や金利等による改善。

2. 主要航路別積高・消席率・運賃指数

(単位：千TEU)

航路別積高・消席率		2020年度							2021年度
		1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績	4Q 実績	下期 実績	通期 実績	1Q 実績
北米往航	積高	610	765	1,375	730	659	1,389	2,764	615
	消席率	96%	100%	98%	103%	102%	103%	100%	100%
欧州往航	積高	347	419	766	402	389	791	1,556	436
	消席率	96%	98%	97%	102%	99%	100%	99%	100%
北米復航	積高	327	328	654	368	330	698	1,352	328
	消席率	51%	43%	47%	54%	56%	55%	51%	54%
欧州復航	積高	290	289	579	331	308	639	1,219	339
	消席率	75%	70%	73%	80%	80%	80%	76%	82%

(2018年度1Qの各航路総平均運賃を100とした指数)

運賃指数		2020年度							2021年度
		1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績	4Q 実績	下期 実績	通期 実績	1Q 実績
北米往航		110	119	115	140	157	148	132	185
欧州往航		106	103	104	125	280	201	153	327

- 積高・消席率：前年度4Q比で北米往航は港湾混雑等の遅延による欠便の影響で積高減も消席率は満船を維持。欧州往航は積高、消席率共に改善。前年同期比は北米、欧州往復航共に改善。
- 運賃指数：長期運賃、短期市況共に上昇。対前年比では大幅に改善。

3. COVID-19影響と対応

COVID-19影響と対応

発生事象

- 巣ごもり需要に加えて外出需要も活発化。消費財を中心に、世界的な貨物需要は対前年同期比約20%増加と一層の強含み。特に北米航路の1~6月市場荷動きは対前年40%増加、COVID-19の影響が出る前の2019年度との比較でも27%増加。過去5年（2016~2020年）の平均伸び率は4%台となっており、非常に強い荷動き。
- 世界各地でも力強い貨物需要とCOVID-19等による労働力不足の影響で、港湾・内陸での回転率が低下。
- トラック、シャーシ不足等によるコンテナ引き取りの遅延が引き続き発生。
- 世界各国の移動制限により、船員交代に関しては困難な状況が継続。



ONEの対応

Customer service oriented

- eコマースの新機能“ONE QUOTE” などデジタルソリューションの提供を加速。
- 顧客とコンテナ、スペースの状況について‘Live Chat’等を通じ密なコミュニケーションを提供。

Operation excellency

- 船の遅延と貨物量急増による積み残しの解消、スケジュール維持のため、増速を含めた運航最適化を実施。
- コンテナ調達を継続し、順次投入中。保冷コンテナのフリートを一層強化。
- AI技術も活用し、自社スペースの最大運用、及び追加船舶を活用したコンテナ回送を実施、コンテナ持ち帰り最大化。
- ターミナルとも協業しコンテナの早期引き取りおよび返却の働きかけを実施。
- 船員交代のための臨時寄港にも最大限対応、船主との協力を強化。

Quality of employee

- 全世界のオフィスで柔軟な在宅勤務を実施。従業員同士の繋がりや地域社会貢献活動を継続。
- ネプチューン宣言に基づいた船員の交代ケアを支援するCSR活動の実施。



**サプライチェーン全体に対して許容量を超える負担がかかっている状況が継続中。
ONEとしては社会インフラを維持する責任を果たすべく最大限の対応を実施。**

4. 2021年度通期見通し

- 足元の需要は急速に強含む一方、COVID-19による様々な制限によりサプライチェーンに負荷がかかっている状況が継続しています。
- 今後、ワクチン接種の進展によりCOVID-19感染状況の改善が期待されるものの、いくつかの国においては感染の再拡大が続いており、先行きは不透明です。
- かかる状況下、上期については現時点でおよそ6,000百万US\$の税引き後利益を予想しています。
- 通期については、COVID-19感染動向次第で経済環境がダイナミックに変化する状況下において合理的な業績見通しの策定は困難であり、引き続き未定と致します。

5. 競争力強化へ向けた取り組み

- THE ALLIANCEの2021年度新プロダクトへの移行が完了。アジア発米国ガルフ向けサービスEC6の新設、北米東岸向けEC1、EC3サービスを統合し大型化、大西洋サービスにおいても大型化、合理化を実施。便数の増加やトランジットタイムの改善、より広範な寄港地のカバーを実現。
- 成長が見込まれるマーケットの取り込み強化を目的とした、アジア発東アフリカ向け新サービスEAFは2021年4月よりサービス開始、満船基調が続き好調な滑り出し。
- 運賃見積もりやBooking受付機能を搭載したeコマースツール‘ONE QUOTE’は2021年2月の開始以来、順調に取り扱い範囲を拡大、実績も増加。電子支払いや電子署名にも対応予定。
- 脱炭素化への具体的な取り組みとしてバイオ燃料の2度目のトライアルを完了。M/V MOL Experienceに供給、大西洋航路にて実用実験し概ね良好な結果。実用化へ向け大きく進展。
- 2018年より運用を開始していた運航船舶の品質管理基準と管理プロセス ‘Vessel Quality Standard System (ONE-VQS)’について、ISO9001を新たに取得。
- Mission To Seafarers の‘Flying Angel Campaign’にゴールドメンバとして参加。COVID-19対応における船員ケアや、移動制限下での交代を支援。

6. 参考資料（船隊構成・航路構成）

□ 船隊構成

Size		1)2020年6月末	2)2021年3月末	3)2021年6月末	3)-1)
>= 20,000 TEU	キャパシティ(TEU)	120,600	120,600	120,600	0
	隻数	6	6	6	0
10,500 - 20,000 TEU	キャパシティ(TEU)	396,600	431,600	441,600	45,000
	隻数	29	32	32	3
9,800 - 10,500 TEU	キャパシティ(TEU)	100,100	100,100	110,200	10,100
	隻数	10	10	11	1
7,800 - 9,800 TEU	キャパシティ(TEU)	374,326	383,326	365,698	▲ 8,628
	隻数	42	43	41	▲ 1
6,000 - 7,800 TEU	キャパシティ(TEU)	202,080	170,866	163,984	▲ 38,096
	隻数	31	26	25	▲ 6
5,200 - 6,000 TEU	キャパシティ(TEU)	83,992	94,928	83,699	▲ 293
	隻数	15	17	15	0
4,600 - 5,200 TEU	キャパシティ(TEU)	113,580	103,607	103,607	▲ 9,973
	隻数	23	21	21	▲ 2
4,300 - 4,600 TEU	キャパシティ(TEU)	62,952	67,271	67,271	4,319
	隻数	14	15	15	1
3,500 - 4,300 TEU	キャパシティ(TEU)	25,408	32,664	29,130	3,722
	隻数	6	8	7	1
2,400 - 3,500 TEU	キャパシティ(TEU)	60,704	79,282	71,814	11,110
	隻数	23	30	27	4
1,300 - 2,400 TEU	キャパシティ(TEU)	10,296	12,171	10,415	119
	隻数	6	7	6	0
1,000 - 1,300 TEU	キャパシティ(TEU)	7,452	8,536	10,663	3,211
	隻数	7	8	10	3
< 1,000 TEU	キャパシティ(TEU)	0	0	0	0
	隻数	0	0	0	0
合計	キャパシティ(TEU)	1,558,090	1,604,951	1,578,681	20,591
	隻数	212	223	216	4

□ 航路構成

(2021年1Q 往復スペースの構成)

